

【令和3年10月新着図書案内】

情報コーナーに新しい図書が27冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『キレたくないのにキレてしまうあなたへ』	岡田法悦著 田房永子マンガ・イラスト	朝日新聞出版	2021年	146.8オ オレンジ	気づきの心理療法といわれ、ストレスケアなどでも活用されているゲシュタルト療法の第一人者が、キレることに悩む人に、1人でもできる方法を紹介する。
『ケアするのは誰か？ —新しい民主主義のかたちへ』	ジョアン・C・トロント著 岡野八代訳・著	白澤社	2020年	311.7ジ アカ	ケアに満ちた民主主義を訴えてきた米国のフェミニスト政治学者による講演録と、日本のフェミニスト政治学者である訳者が、「フェミニスト的なケアの民主的倫理」の必要性を解説する。
『25歳からの国会 武器としての議会政治入門』	平河エリ著	現代書館	2021年	314.1ヒ アカ	「総理大臣と国会」「国会議員の仕事とは」「ジェンダーと国会」など、平易で中立的な目線で書かれた議会制民主主義の教科書的な本。
『私の名前を知って』	シャネル・ミラー著 押野素子訳	河出書房新社	2021年	326.2シ アカ	アメリカの大学で起きた性暴力事件の被害者が、自分自身を取り戻すために過ごさなければならなかった時間を描き、社会や司法制度が抱える差別や抑圧に挑んだ回想録。
『増補 刑事司法とジェンダー』	牧野雅子著	インパクト出版会	2020年	326.2マ アカ	性暴力加害者に着目し、刑事司法システムが加害者をどのように扱ってきたのかを明らかにすると共に、加害者の責任を問う法のあり方を提言する。
『LGBT はじめての労務管理対応マニュアル』	森伸恵著	労働調査会	2021年	336.4モ アカ	弁護士である著者が、LGBTと労務管理について、寄せられた相談事例などをふまえ、当事者従業員が抱えている悩み、企業側の適切な対応方法などを具体的に記載する。
『「サラリーマン女子」、定年後に備える。 お金と暮らしと働き方』	大江加代著	日経BP	2021年	365オ キン	人生100年時代。定年後のお金や医療、働き方など、多くの女性が30年以上ある期間を不安なく、楽しく生きるために知ってほしいことを届ける。
『男性の育休 家族・企業・経済はこう変わる』	小室淑恵、天野妙著	PHP研究所	2020年	366.3コ ミスイロ	データや具体的事例をもとに、男性育休に関する基本的知識や、なぜ必要か、なぜ取得者が増えないのか、どうすれば取得が広がるかなどをわかりやすく伝える。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『男性育休義務化の基礎知識 男性育休の教科書』	片野温、羽田光編	日経BP	2021年	366.3ニ ミズイロ	育児・介護休業法の改正で、2022年から何が変わるのか、具体的に何が変わる義務化されるのかなど、先進企業の取組を含む最新情報を紹介する。
『「非モテ」からはじめる男性学』	西井開著	集英社	2021年	367ニ ミドリ	「非モテ」男性はモテないから苦しいのか。非モテに悩む男性たちの生の語りを中心に焦点を当て、苦悩の内実や背景にある複雑なメカニズムを見つめる。
『ジェンダー分析で学ぶ 女性史入門』	総合女性史学会編	岩波書店	2021年	367.2ソ ミドリ	ジェンダー視点での史資料分析とはどのように行うのか、どのようなことが明らかになるのか。埴輪や歌舞伎、男女別学、LGBTなどをテーマに、最新の成果と手法を紹介する入門書。
『マチズモを削り取れ』	武田砂鉄著	集英社	2021年	367.2タ ミドリ	「マチズモ」を社会で男性が優位でいられる構図や、それを守り、強制するための言動の総称としてとらえ、特定の場面や状態に残存するマチズモについて、細かく考察する。
『ガールズ・メディア・スタディーズ』	田中東子編著	北樹出版	2021年	367.2タ ミドリ	メディア文化における若い女性たちの地位と表象について検討し、彼女たちの生み出す新しい文化実践について分析した論考集。
『シングルマザーの貧困はなぜ解消されないのか 「働いても貧困」の現実と支援の課題』	中園桐代著	勁草書房	2021年	367.2ナ ミドリ	シングルマザーの「働いても貧困」という課題について、当事者アンケートや面接調査による労働実態とキャリア形成から解き明かす。
『事実婚と夫婦別姓の社会学』	阪井裕一郎著	白澤社	2021年	367.4サ キイロ	明治時代から現代までの事実婚問題や「姓」をめぐる議論の歴史の変遷を明らかにし、多様化するパートナー関係や家族関係をどのように保障すべきかについて考える。
『子どもと性の話、はじめませんか？ からだ・性・防犯・ネットリテラシーの 「伝え方」』	宮原由紀著 高橋幸子監修	CCC メディアハウス	2021年	367.9ミ オレンジ	親子で性について会話するきっかけとなるように、子供の成長に合わせた疑問や悩み、それに対する具体的な伝え方など、子供にどう伝えるかに重点を置いて書かれた一冊。
『福島の子供たち おとなは何ができたのか』	鈴木庸裕編著	かもがわ出版	2021年	369.3ス ピンク	福島の子供たちに寄り添い続けてきた人たちは、子供たちのどういった声を聴き、どんな力を引き出したのか。様々な課題や支援の実践などから、こうした問いに答える。
『子ども家庭福祉 一子ども・家族・社会をどうとらえるか』	垣内国光、岩田美香、 板倉香子、新藤こずえ編	生活書院	2020年	369.4カ ピンク	社会福祉と保育を学ぶ学生向けに編まれた、知識獲得だけではなく、子ども家庭福祉の学びがいかに魅力的で楽しいものであるかを伝える教科書。
『社会的処方 孤立という病を地域のつながりで治す方法』	西智弘編著 西上ありさ、出野紀子他共編 藤岡聡子、横山太郎他著	学芸出版社	2020年	369.7ニ ピンク	社会的孤立という従来の医療の枠組みでは対処が難しい問題に対し、薬ではなく、地域での人のつながりを処方する「社会的処方」について、イギリスの事例と日本各地の取組を紹介する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『にほんでいきる —外国からきた子どもたち』	毎日新聞取材班編	明石書店	2020年	371.5マ ギン	不就学の子供の実態や学校で日本語教育を受けられない子供の苦悩などを伝え、外国籍の子供の学ぶ権利を問う。
『医療の外れで 看護師のわたしが考えたマイノリティと 差別のこと』	木村映里著	晶文社	2020年	498.1キ ギン	「性風俗」「生活保護」「依存症」など9つのテーマに焦点を当て、マイノリティや貧困、差別に対して、医療従事者がどう向き合うべきかを論ずる。
『子どもも自分もラクになる 「どならない練習」』	伊藤徳馬著	ディスカヴァー・ トゥエンティワン	2020年	599イ キイロ	「代わりに行動について話す」「一緒にやってみる」といった、子供への基本的な対応方法を練習する「ちはっさく」という子育て練習講座を、家で体験できるようにテキスト化した。
『「テレビは見ない」というけれど エンタメコンテンツをフェミニズム・ ジェンダーから読む』	青弓社編集部編著	青弓社	2021年	699.6ア ミズイロ	テレビのコンテンツの中から、バラエティーとドラマを中心に、フェミニズムやジェンダーの視点によるエンタメコンテンツの問題点と可能性を探る。
『子どもを守る言葉 『同意』って何？ YES、NOは自分が決める！』	レイチェル・プライアン作 中井はるの訳	集英社	2020年	K361レ アカ	子供にもそれぞれの感覚や意思で決める「バウンダリー(境界線)」があり、それを自覚し守るためには「同意」の確認が必要であることを、イラストにより楽しく語る。
『女の子はどう生きるか —教えて、上野先生！』	上野千鶴子著	岩波書店	2021年	K367ウ ミドリ	「生徒会長はなぜ男子が多い？」「痴漢にあうのは私が悪い？」など、学校、家、社会の中で女の子たちが日常的に抱くモヤモヤや疑問に答える。
『こどもジェンダー』	シオリーヌ(大貫詩織)著	ワニブックス	2021年	K367シ ミドリ	助産師/性教育YouTuberである著者によって子供向けに書かれた、ジェンダーとセクシュアリティに関するお話。
『女の子だから、男の子だからをなくす本』	ユン・ウンジュ著 イ・ヘジョン絵 すんみ訳	エトセトラブックス	2021年	K367ユ ミドリ	韓国で盛り上がりをもせた、性別を理由に自由を制限されないよう社会を変えていこうという流れの中で生まれた、子供と大人で読む絵本。